

編集後記

昨年度に執筆・投稿規程、及び、査読・閲読実施要綱の改正がなされ、本論集の投稿、査読・閲読、編集についての環境の整備が進められたことを受けて、今年度から新しい規定、実施要綱のもとでの編集を行うこととなりました。今年度の投稿論文数は原著論文2編、研究ノート1編、実践報告2編でした。

査読・閲読制度が本誌に導入されて6年が経っています。査読を行うことは、投稿へのハードルを上げるという負の側面と、研究論集の質、及び、外部評価の向上という正の側面という両面性をもちますが、大学紀要への投稿は、特定領域の専門家によって（のみで）構成される学会誌の場合とは違って、自己の書いた論文が専門領域を異にする研究者たちにどのように理解されるのかを問う、ある意味での「他流試合」とも考えられます。この点をご理解いただいて、奮って投稿してくださることを祈念しております。

（長谷川）

論集編集委員会

志 村 聖 子（音楽学部）

鈴 木 徳 男（人文学部）

松 島 京（人間発達学部）

千 葉 真 也（共通教育センター）

沼 田 潤（共通教育センター）

長谷川 精 一（総合研究センター長）

平成31年3月5日 印刷 第35巻（通巻第70巻）
平成31年3月10日 発行

編 集 相愛大学研究論集編集委員会

発 行 相愛大学総合研究センター
大阪市住之江区南港中4丁目4番1
電話（06）6612-5904番

印 刷 協和印刷株式会社
京都市右京区西院清水町13
電話（075）312-4010番
